イスラ ムにおける悲しみの (1/5)

:

明:なぜ いことは起こるのでしょうか? クルア ン的 点から ていきます。

目: 事禁 行 とその 践スラ ム的モラルと

より: J. ハ シミ

⊟05 Aug 2013

集日 09 Jun 2014



争、 、苦しみ。新 が、世界中で起きている悲惨な出来事を 道しない日はありません。 人レベルにおいても、多くの人々は 日の生活の中で悲しみと を抱えて生きています。 する人の死、 的苦境、夫 の 。なぜ神は人々に いことをお望みになるのでしょうか? この命 は、多くの宗教の信仰者たちが何百年にも渡って抱き けてきたものです。これ は信仰に する最も大きな障害の一つであり、それにより数え切れない程の人々が神への信仰を完全に て去ることにつながりました。

有神 者たちは 々な方法で、神と との融合を みてきました。ある多神教徒たちは、神はを嫌うものの、それを防ぐ力を持たないと主 しました。この概念は、神の地位が全能者(アル=アズィ ズ)、至大者(アル=ジャッバ ル)、至 者(アル=カウィ)、万能者(アル=カディ ル)であるとするクルア ンによって否定されています。また一部の者たちは、神が を取り除く力を持ちつつも、 がいつどこで起きるかを知らないとしま

す。この概念は、火事によって建物の大半が延 してしまった にやってくる消防士のような地位に神を め、全知者(アル=アリ ム)、全 者(アル=バスィ ル)、全 者(アッ=サミ ウ)、支配者(アル=マリク)としてクルア ンにおいて神の名は されていることからも、到底受け入れられる主 ではありません。事 、もし神が地上のすべての を取り除こうと思われたのであれば、それを阻むものは何一つなく、神の御力に疑心を抱くことは冒 であるとみなされます。

多神教は、更なる を 用します。それは神は善良ながらも、他の い神々が神の善性を抑え、地上に腐 を蔓延させている、というものです。それゆえ神は、それらの神々との 抗争を いられているとします。おそらくサタンが 抗の神で、神と常に争う地位にある としているのでしょう。この 数の神の概念は、クルア ンにおいて完全に否定されています。クルア ンでは神のことを、唯一なる御方(アル=ワ ヒド)、唯一 二の者(アル=アハド)、第一の者(アル=アウワル)、最 の者(アル=ア ヒル)と呼びます。クルア ンは唯一なる神の他に神はないと します。

これと同じような1,000以上の 々によって、 数の神を信じることは不可能となっています。究 の神とは、まさに唯一 二なのです。

古代グノ シス派は、世界の と神との 性に困 を 出すあまり、神そのものが であるとさえ付けしました。この主 をする人々は、神が全能であるのと同 に慈 あまねき者であることは不可能だとします。もし神にすべての を取り除くことが出来るのに わらずそうしないのであれば、かれは である必要があるというのです。この概念はクルア ンにおいて 条件に否定されます。クルア ンでは、神が する者(アル=ワドゥ ド)、最も しい者(アル=バッル)、最も 大な者(アル=カリ ム)であると宣言します。またクルア ンでは、神が慈 深き者(アッ=ラヒ ム)、慈悲あまねき者(アッ=ラフマ ン)、最も 容な者(アル=ガッファ ル)、 えず恩 を施す主(ズ アル=ファドル アル=アズィ ム)、そして平安と安定の究 の源泉(アッ=サラ ム)であると言及しています。

このように、クルア ンは神が全能かつ する者であると断言しています。では、この世界に が蔓延していることから、それら2つの性 はどのように 和するのでしょうか? イスラ ム的 点では、神はより大きな善を 成するために の 生を引き起こすとします。神がそのしもべを苦しめるのは、かれの望むような人物像に人々を形成するためです。 苦しみによって、人々は永 する性 を います。それは逆境における 固とした忍耐、そして 虚な心と 性です。また、より重要なこととして、苦しみは人々を神へと立ち向かせます。それは真の信仰者と 者とをふるいにかけ、 するのです。

人は苦しみによって神を想念する

人 には、物事が なときには神を忘れ、苦境や に 舞われたときには神を思い起こす 向が あります。クルア ンでは、それが船 りに譬えられます。 帆のとき、 たちは神を想念しませんが、 が船を 覆させようとするものなら、彼らは急に神へと真 に祈り出すのです。クルア ンはこう述べます。

このたとえは、私たちの日常生活においても 用することが出来ます。人は 的に かだと神を忘れがちですが、仕事を解雇されたりすれば、たちまち神の助けを求めるようになります。 言者ムハンマドが神の教えを布教したとき、彼に った多くは 者や奴 たちでした。一方で、マッカの裕福 は信仰とはかけ れた生活を けました。俳 、歌手などの有名人を含む富裕 も、不信心な暮らしをすることで知られています。 しく困 した人々は、より神へと依存するのです。このことは、困 が必ずしも いことではなく、また裕福であることも必ずしも善いことではないことを意味します。神はクルア ンの中でこう述べます。

これらのことは、人の心理状 に わることです。人は幸 に まれると神を忘れ、不遇の中では神を思い起こします。そのため、神は や苦 によって私たちを苦しめ、私たちがか

れに立ち返り、かれの恩 を求めさせるのです。一体どれ程の人々が苦しみの上に苦しみを重ねられた 、神に立ち返り、イスラ ムに かれたことでしょうか? 例えば、良い意 を持った政治家が、ひとたび 力に着くと、制度によって腐 してしまう合があります。やがて彼は の受け渡しをするようになり、裕福な政治家として 三昧で不信仰な生活を送るようになります。そして神により、彼は突然逮捕され、すべての富を失い、妻にも去られ、彼は 中でもがき苦しみます。自らの 得について熟考した彼は、最 的に神へと立ち返るのです。こうして、より大きな善いことが彼にもたらされるため、 いことが起きたのです。彼は成功していたかに えましたが、 は地 に向かっており、神が彼を困 によって苦しめたとき、彼は正しい道を み始めました。 中での一 の苦しみは、永久の に して支 う かな代 に ぎなかったのです。 として、善良な人々に いことが起きるのは、 期的な 点からは、より善いことがもたらされるための神の らいなのです。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/1803

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。